第4回浦安市自立支援協議会 議事要旨

○「障がい」の表記について

法律名、団体名等固有の名称を除き「障害」は「障がい」と、「害」を「がい」とひらがな表記します。

- (例) 障がい者福祉センター、身体障がい者福祉センター など
- ○委員名の表記について

障がい当事者あるいはそのご家族である委員のプライバシーの保護の観点から、また、委員は団体等を代表としてご参加いただいていることから、発言者の名称には、団体名等を掲載します。

- 1. 開催日時 令和6年2月29日(木) 14:45~16:00
- 2. 開催場所 東野パティオ 2階 会議室3・4 (オンラインと併用)
- 3. 出席団体名

和洋女子大学(会長)、社会福祉法人パーソナル・アシスタンスとも(副会長他1名) 千葉商科大学、浦安手をつなぐ親の会、浦安市視覚障害者の会トパーズクラブ 浦安市聴覚障害者協会、社会福祉法人敬心福祉会(2名)、社会福祉法人佑啓会 社会福祉法人千楽、労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 社会福祉法人なゆた、株式会社徳正、株式会社舞浜コーポレーション 浦安市社会福祉協議会、中核地域生活支援センターくらっち、福祉部、 こども発達センター、教育センター

4. 議事

- (1) 部会活動報告
- (2) 令和5年度地域生活支援拠点事業及び委託相談会議活動報告
- 5. 資料

議題1資料 部会活動報告

議題2資料 地域生活支援拠点運営会議について

その他資料 浦安市障がい者アート展 2023 報告書

その他資料 浦安バリアフリーコンサート報告書

(当日資料) 委託相談連絡調整会議について

(当日資料) デフリンピックを知ろう

6. 議事

(1) 部会活動報告

各部会のリーダーより第3回の報告を行った。委員からの意見は次のとおり。

<こども部会について>

意見なし

<地域生活支援部会について>

浦安手をつなぐ親の会:個別避難計画作成の進捗状況と以前は一般避難所に避難してから福祉避難所に移動することになっていましたが、現在は直接、福祉避難所に避難できるようになっているのか確認させてください。

事務局:個別避難計画の進捗状況は、令和5年度は身体障がい者1級・2級のうち、視覚障がい者や肢体不自由、運動機能障がいをお持ちの方かつ浦安市水害ハザードマップの洪水のリスクの高い地域にお住まい方を対象に63名の個別避難計画作成を進めております。令和6年2月末時点で個別避難計画が完成した方は20名となっており、引き続き関係機関と協力しながら進めてまいります。また、もう一つの質問につきまして、直接、福祉避難所に避難できるよう個別避難計画を作成しております。

浦安手をつなぐ親の会:療育手帳を持っている方の個別避難計画作成は順次、行われる予定ですか。

事務局:令和6・7年度の2年間で台帳に登録されている約800名の個別避難計画の作成を順次、進める予定となっております。ただ、能登半島地震の件もございますので、市長からは予定を前倒し、個別避難計画の作成を進めるよう指示がでております。

会長:個別避難計画は、原則、担当の相談支援専門員が携わって作成していますか。

事務局:原則、相談支援専門員が携わって作成しております。

会長:その方を最も理解している相談支援専門員が個別避難計画の作成に携わるのが自然だと思いつつも、ただでさえ忙しい相談支援専門員に負担がかかっている現状が把握できました。 ただ、個別避難計画の作成は大事なことですし、進めていただければと思います。

<権利擁護部会について>

浦安手をつなぐ親の会:浦安市社会福祉協議会の成年後見制度の利用状況をご教示いただきたいです。また、市民後見人の養成について、どのくらいの方が活躍されているのか、市民後見人を利用した際の報酬についてもご教示いただきたいです。

浦安市社会福祉協議会:市民後見人の養成講座が終わり、受任して活動してる方は4名います。 また、3月になったら裁判所に申し立てする方が1名います。

報酬については、市民後見人だから安くなるわけではなく、本人の財産状況によって異なってまいりますが、今後は変更してくる可能性もございます。

浦安市全体で法定後見を利用している方が 145 人、任意後見を利用している方が 3 人、浦安市社会福祉協議会において法人で受けている件数が 23 件となっています。内訳は高齢者が 13 件、知的障がいのある方が 3 件、身体障がいのある方が 7 件となっています。

<就労支援部会について>

意見なし

(2) 令和5年度地域生活支援拠点事業及び委託相談会議活動報告 副会長より報告を行った。委員からの意見は次のとおり。

中核地域生活支援センターくらっち: 2点質問させてください。

緊急時支援事業の利用登録は何名おり、相談支援専門員がついていない方の利用登録はできますか。また、浦安市のセルフプラン率はどのくらいですか。

社会福祉法人佑啓会:緊急時支援事業の利用登録者は約34名です。

副会長:セルフプランの方も登録できます。

浦安市のセルフプラン率は成人の方が約2割、児は約3割となっています。

中核地域生活支援センターくらっち:他市で、相談支援専門員がついていない方が緊急時支援の 利用申請した際に、断られた事例があったため、その観点から質問させていただきました。

教育センター:教育と福祉の連携について記載がありますが、私もこちらの会議に参加させていただくようになって色々な福祉サービスがあることを知ることができ、どうしたら教育と福祉が連携できるのか考えているが、なかなか答えが見つからないです。ぜひ対話の機会を設けていただいて、こどもたちのために、それが将来に続くことを大切に考えてできたらいいなと思っております。

【報告事項】

事務局より、12月20日(水)から26日(火)まで開催した障がい者アート展および1月27日(土)に開催した浦安バリアフリーコンサートについて報告があった。

浦安市聴覚障害者協会より3月2日(土)に実施するデフリンピックに係るイベントについて案内があった。

7. 閉会

- ・第3回こども部会
- ·第3回地域生活支援部会
- ·第3回権利擁護部会
- ·第3回就労支援部会

部会名	令和5年度 第3回こども部会	*作業部会(無)
日時	令和6年1月30日(火)午後1時~午後3時	会場及びオンライン

■報告事項

	7 争坝				
	議 題	第3回自立支援協議会及び第2回こども部会の振り返りについて			
-	力 注	第3回自立支援協議会の報告及び第2回こども部会の振り返りを行った。			
	協議内容	(主な意見・質疑応答)			
1	特になし。				
	協議	■審議終了 □継続審議			
	結 果	□自立支援協議会へ(報告・審議) □その他()			
	議 題	医療的ケア児やその家族について			
=	協議	こども部会の中で見識を深めるために、委員の経験をもとにお話頂いき、グル			
	内 容	ープごとに意見を話し合った。			
		(主な意見・質疑応答)			
		・退院するまでのサービスに繋がる前のことが知ることができ、勉強になった。			
		・入院から退院までの流れがよく分かった。実際の生活を発信していただけるこ			
		とがありがたく、勉強になった。			
		・他市で医療的ケア児を預かる時に親御さんと連絡がつかない時の救急対応につ			
2		いてマニュアルを作って、消防とも連携をとっている。現状そういった連携は			
		取れる体制があるか。			
		→・消防・救急との連携体制は現状ない。ただスムーズな連携をとるために、事			
		前に救急隊やかかりつけの病院への情報の共有や連絡を行っている。			
・レスパイト先の不足によって大変な苦労をし		・レスパイト先の不足によって大変な苦労をしていることが改めて分かった。浦			
		安市の病院でレスパイトを活用したことはあるか?			
		→・子どもが小さいときに預かってもらったことはあるが、現状は利用していな			
-		V'o			
	協議	□審議終了 □継続審議			
	結 果	■自立支援協議会へ(報告) □その他()			
-	議題	次年度自立支援協議会のテーマについて(グループワーク)			
		令和6年度以降の自立支援協議会テーマ別部会で取り扱うべきテーマについて、			
		令和5年度こども部会の議論を踏まえ、グループワークを行った。 (主な音見、所以内グ)			
3	協議	(主な意見・質疑応答) A グループ			
	内容	・学校生活における進路選択・就労選択などの節目において、居場所を失うこ			
		とで様々な問題を抱えるこどもに関して、つなぎ目や出口についてや潜在			
的に福祉に繋がっていないこどもについて		的に福祉に繋がっていないこどもについての話し合いの場がもてるとい			
		V N _o			

Bグループ

・自分の価値を認めてくれる第 3 の居場所をどうやって見つけていくかが大 切。

教育と福祉の垣根がなくなっていく中で、お互いの仕組みを有効活用することで、教育現場の負担を少なくできるのではないかという話がでた。目的の相談支援に繋がるために、こどもの相談体制の再構築について話し合えるといいという話がでた。

Cグループ

・医療的ケア児が安心して生活できる体制を浦安市で作っていけるといいと 思った。

ひとつひとつのケースに対して丁寧にケアしていくことで、関わるスタッフのスキルや周りの環境・意識の向上につながる。

Dグループ

・こどもの時期をどう過ごすかによって、就労や8050問題など先に繋がっていくことから、不登校や引きこもり、発達に心配のあるこどもについて、生きやすくなる仕組みづくりを取り組んでいくことが大切である。

リ:それぞれのグループから意見のあったテーマから、一つに絞るのではなくこ ども部会として話題にあがったことを本会に伝えていきたい。

- ・次年度以降の自立支援協議会の体制に関して、変わることや会議の目的についてもっと具体的に説明してもらいたい。
- →・具体的な体制についてはこれから決めていくが、現状の体制では議題に関して深堀できないことがあるため、他市町村を参考にテーマを絞ることで、掘り下げて議論していくことを考えている。また、令和6年度以降に会長と相談しながら、具体的な仕組みが示せるようになったら、改めて説明させていただく。

	910 G CA 1010 Co			
協議	□審議終了 □継続審議			
結 果	■自立支援協議会へ(報告)	□その他()	

部会名	令和5年度 第3回地域生活支援部会	*作業部会(無)
日 時	令和6年2月6日(火) 午後2時~午後4時	会場及びオンライン

■報告事項

— TIA	口事识	MA A POLITINA WE LESSING A TENNING THE AND A SECOND ASSESSMENT OF THE ANGLE AND A SECOND ASSESSMENT ASSESSMENT OF THE ANGLE AND A SECOND ASSESSMENT ASSESSMENT		
	議題	第2回地域生活支援部会の振り返りと第3回自立支援協議会について		
		令和5年度第3回自立支援協議会及び第2回地域生活支援部会の内容について振りによった。		
	り返りを行った。また、令和5年12月にきらりあにて実施した福祉避難			
設訓練について、実施結果の共有を大島副リーダーより行った。				
(主な意見・質疑応答)				
・素晴らしい取り組みであるが、せっかくこういった場で共有するのである。				
	真で可視化すべきである。そうでないと委員に説明が通じない部分がある			
		・災害想定をもっと検討したうえで取り組むべきでなかったか。個別避難計画を		
		考えれば、どんな方が避難してくるかは事前にある程度分かるはずではないか。		
		・設備に不具合があることが判明しているなら早急に修繕をすべきである。		
	協議	・訓練の結果を振り返るに際して当事者の意見も反映すべきである。		
1	内容	・無線機のマニュアルを無線機の近くに設置し、誰でもすぐに使える体制にする		
		べきである。		
		・訓練を実施したことにより、多くの課題が発見されたかと思うが、この課題に		
		ついて、次年度以降に検討するのではなく、今年度中に課題解決に向けて取り		
		組む必要があるのではないか		
		→この福祉避難所の課題について検討する場を今年度中に設定する。		
		・今回の能登半島での地震において、当事者が避難所に避難できず、普段利用し		
		ている施設で受け入れざるを得ない状況となっていた。浦安でも同様の状況と		
		なることが考えられる。また、通信回線の復旧が早かったので、スマートフォ		
		ン等の通信機器の充電手段等も重要性が上がっているのではないか。		
	協議	□審議終了 ■継続審議		
	結 果	□自立支援協議会へ(報告・審議) □その他()		
	議題	精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの構築について		
		福田委員より浦安市ソーシャルサポートセンターが 1月 24 日に実施した浦安版		
		「にも包括」研修会について説明を行った後、浦安でのにもケアに対する課題に		
グループワーキングとして話し合いを行った。		グループワーキングとして話し合いを行った。		
2	協議	(主な意見・質疑応答)		
	内容	Aグループ		
		・正月の能登半島の地震の際、緊急地震速報による通知がなかった。視覚障害の		
		ある者にとって、携帯による速報は大きなツールであり、災害時の情報の取得		
		は課題である。また、乱雑に情報が量だけあっても混乱してしまうため、必要		
	•			

な情報を選んでいくために地域の人とのコミュニケーションが重要である。 専門性のある特性に特化した相談員が必要になるだろう。 Bグループ ・被災時には健常者でも情報不足になるので、視覚や聴覚に障がいを抱えている 方は特に情報不足に困るので何らかの支援が必要である。 Cグループ ・浦安市にとってどんな資源がないかを悲観するのではなく、持っている資源の 中で今後どのように整備を図っていくかを検討していくことが重要である。そ のためには、当事者や擁護者と現状やこれまでの歴史について話をしっかり聞 き検討していくことが重要である。 ・これと合わせてインフラの弱点についても整えられるものは整備を図ってい き、今ある資源での整え方と、足りない資源の拡充の2本柱で整備を進める必 要がある。 D グループ ・精神に障がいのある方が入院できる設備がなく、入居できるグループホームも 少なく探すのが難しい。また、見つかっても浦安市内は家賃が高い。 ・親の目線としては、地元には本人にとって昔からの友人もいるため、地元での 生活を続けさせたい。そのための支援を手厚くすべきである。 協議 □審議終了 ■継続審議 結 果) □自立支援協議会へ(報告・審議) □その他(次年度自立支援協議会のテーマについて(グループワーク) 議題 令和6年度以降の自立支援協議会テーマ別部会で取り扱うべきテーマについて、 令和5年度地域生活支援部会の議論を踏まえ、グループワークを行った。 (主な意見) 来年度の部会についての説明を受けて ・来年度以降の議題についての議論であればこれまでの地域生活支援部会で どういった議題を取扱い、どの議題が継続となり、どんな議題が終了となっ たかがある方がよいのでは →令和6年度以降は、テーマ別部会を設定し、それに基づく、進行となってい **3** 協議 くため、地域生活支援部会に限らず、次年度以降取り扱うテーマについてを 内容 話し合っていただきたい。

A グループ

- ・近辺に在住の障がいのある方を巻き込んだ避難訓練を行い、福祉避難所には当 事者の意見を反映していくべきである。
- ・福祉避難所について障がいだけでなく高齢者に向けた避難所とも連携が必要で はないか

Bグループ

- ・福祉避難所について課題のあぶり出しを進めていくべきである。
- ・にもけあを進めていくためには近所に気軽に相談できる場があるとよい。
- ・にもケアという言葉を知らない方も多いため、にもケアという言葉を地域に周 知啓発を行っていくことが重要ではないか

Cグループ

- ・各事業所はBCPを作成しなくてはいけないことになっている。これの作成が 進んでいないので、部会の参加者で作成していくのはどうか
- ・障がいの重い方にとって住まいは非常に切迫性のある問題であるため、障がい 者の住まいの場については今後も議論が必要ではないか

D グループ

- ・地域で安心して生活していくためのテーマを話す場は今後も必要である。
- ・これまでの部会である程度課題が捻出できているはずなので、その中からテーマを選択していくべきである。

協議

□審議終了 □継続審議

結 果

■自立支援協議会へ(報告・審議) □その他(

部会名	令和5年度 第3回権利擁護部会	*作業部会(無)
日時	令和6年2月8日(木) 午後2時~午後4時	会場

■報告事項

— TIA I	-	,	
	議題	第2回権利擁護部会の振り返りと第3回自立支援協議会について	
		事務局より第3回自立支援協議会及び第2回権利擁護部会の内容について振り	
	坊 举	返りを行った。	
	協議		
1	内容	(主な意見・質疑応答)	
		特になし	
	協議	■審議終了 □継続審議	
	結 果	□自立支援協議会へ(報告・審議) □その他()	
	議題	障害者差別解消法の改正に係る取り組みについて報告	
	協議	事務局より障害者差別解消法の改正に係る周知の取り組み状況について説	
	内 容	明を行った。	
2		(主な意見・質疑応答)	
		特になし	
	協議	■審議終了 □継続審議	
	結 果	□自立支援協議会へ(報告・審議) □その他()	
	議題	8050 問題について	
		令和6年度より実施が始まる重層的支援体制整備事業について、8050 問題	
		とも係る事業として社会福祉課の堀川委員が説明を行った。	
	協議	その後、第2回権利擁護部会で行った、ワーキングの内容について高松サブ	
3	内容	リーダーより振り返りを行った。	
		(主な意見)	
		特になし。	
	協議	■審議終了 □継続審議	
	結 果	□自立支援協議会へ(報告) □その他()	
	議題	次年度自立支援協議会のテーマについて(グループワーク)	
		令和6年度以降の自立支援協議会テーマ別部会で取り扱うべきテーマについて、	
		令和5年度権利擁護部会の議論を踏まえ、グループワークを行った。	
4	協議	(主な意見・質疑応答)	
	内容	A J N - J - S - S - S - S - S - S - S - S - S	
		・8050 問題については、調査結果の活用も踏まえ、今後も議論を深めていく	
		必要があるのではないか。問題を抱えた家庭に対する対応方法についてより議論を進めていくべきである。	
		7 時間に作っていて、このできる。	

- ・後見人支援制度について、後見人の信用性の問題から、親にとって制度利用 に対するハードルが高い問題があるため、この問題に対して議論を行いた い。
- ・障がいのあるお子さんを抱える家庭で、定員内であるのに不合格となった高校生がいるという事例を聞いているが、こういった子を地域の高校で受け入れていくための議論をできないか
- ・福祉避難所について、障がいにより困っている方への配慮を議論すべきであ る。

Bグループ

- ・8050 問題について事例検討を進めていき、各自の立場でどのようなことができるかを進めていく必要があるのではないか、その過程で本日取り扱われた重層的整備事業についても連携していくべきである。
- ・地域でつながりを作っていくことが重要である。地域サービスの充実ではなく、その人の幸福のための地域でのつながりをいかに醸成していくかの議論が必要である。(例えばその人の好きなもので集まれるばの検討など)
- ・防災上で情報弱者を救済していくために、福祉避難所等の制度をだれにもわかりやすくし、地域での助け合いを進めていくべきである。

Cグループ

- ・住まいの問題については、住めるグループホームが増えれば解決という問題でもなく、今後も議論を深める必要があるのではないか。親亡き後にも特に密接に係わる問題ではないか
- ・テーマ別部会となった後も、権利擁護に係るテーマは常に触れ続けていく必要があるテーマではないか。
- ・福祉の担い手不足、人材確保に向けた取り組みを検討する場が必要ではないか、 単純な人数不足以外に人材のミスマッチ等による問題もあるのではないか。
- ・障がい者就労について、職種が少なく感じる。様々な特性の方が参加できるように、これから様々な障がい者の雇用の形が増えてほしい。
- ・福祉避難所について、設置や訓練を行われていると思うが、利用者までその情報が届いていないために不安を感じる。発信する場を増やしていく必要があるのではないか
- ・来年度以降の部会についてメンバーはどのように決まっていくのか
- →来年度以降の部会はテーマ別に部会を行う。取り扱うテーマを部会運営委員で 決定し、テーマ毎に公募を行い、委員を選定していく。
- →公募となると、抽選などになった場合、当事者が参加しづらい場合が懸念されるので、当事者の枠を決めるなどして、なるべく部会に係れるような選出方法にしていただきたい。

協議	□審議終了 □継続審議	
結 果	■自立支援協議会へ(報告)	□その他()

部会名	令和5年度 第3回就労支援部会	*作業部会(無)
日時	令和6年2月16日(金) 午後2時~午後4時	会場及びオンライン

■報告事項

	議员	第3回自立支援協議会の振り返りについて		
	172 =	リーダーより、第3回自立支援協議会の内容について、説明があった。		
	協員			
1	内和	特になし。		
	協	養 ■審議終了 □継続審議		
	結り	果 □自立支援協議会へ(報告・審議) □その他()		
	議员	1 浦安市重度障がい者等就労支援特別事業について		
	協調	事務局より、事業の課題と解決策を説明した。		
②	内和	客 (主な意見)		
		特になし。		
	協	養 ■審議終了 □継続審議		
	結り	果 □自立支援協議会へ(報告・審議) □その他()		
	議员	第1・2回就労支援部会の振り返りについて		
	協『	事務局より第1・2回就労支援部会の協議内容を説明した。		
3	内犯	- (主な意見)		
•	F3 T	特になし。		
	協	養 ■審議終了 □継続審議		
	結り	果 □自立支援協議会へ(報告・審議) □その他()		
	議员	・ 来年度の議論テーマについて (グループワーク)		
	協	事務局より次年度の自立支援協議会及び協議内容を説明し、グループワー		
	内和	ク後、各グループより協議結果を発表した。		
		(主な意見)		
		【テーマ】		
		・短時間就労及び就労選択支援等の活用方法について		
4		・障害福祉サービス等の情報発信方法の工夫について		
)		・障害福祉サービスから高齢者福祉サービスへの移行方法について		
		・複数のサービスを利用している世帯に対する効率的な支援について		
		・人材不足の企業に対する障がいのある雇用の促進について		
		・変化する就労事業に対する事業所のあり方について		
		・障がいのある方の雇用に対する企業及び当事者、福祉サービス事業所の連		
		携について		
	・障害者雇用促進法改正に伴う、拡充された助成金等の活用について			

		・AI 技術の活用と障がい者雇用の促進について		
		【協議方法】		
		・議論テーマごとに、対象人数や就労希望者等の数字を基に議論すること。		
	協議	□審議終了 □継続審議		
	結 果	■自立支援協議会へ(報告・審議) □その他()		
	議題	その他		
	協議 特になし。			
⑤	内容			
	協議	■審議終了 □継続審議		
	結 果	□自立支援協議会へ(報告・審議) □その他()		

委託相談連絡調整会議について

【目的】 浦安市の相談体制(3層構造)構築と課題整理

【参加者】浦安市基幹相談支援センター/浦安市身体障がい者福祉センター(委託相談)

浦安市ソーシャルサポートセンター(委託相談)

発達障がい者等地域活動支援センターミッテ(委託相談)

浦安市障がい者福祉センター(委託相談)

浦安市障がい福祉課/障がい事業課/こども発達センター

【事務局】浦安市基幹相談支援センター

【今年度の特徴】

- 1. 今年度、委託相談支援事業所の受託事業者の変更等によりメンバー構成が変わったことから 実績の取り方や3層構造の相談体制における役割分担等についての認識共有を図った。
- 2. 中核地域生活支援センターくらっち、重層的支援体制整備事業担当者との意見交換を実施。
- 3. 計画相談支援事業所の不足への対応策検討のため、セルフプランの取り扱い等についての アンケート調査を実施(千葉県基幹相談支援センター連絡会ネットワークを活用)
- 4. 事例検討の実施

【令和5年度の取組み ※抽出】

項目	検討内容
3層構造の相談体制について	① 基幹相談と委託相談の役割、3層構造の支援体制における役割分担についての確認。② 精神、発達障がいの方の相談件数が多いことから、種別ごとに委託相談が設定されているが、実践においては種別にとらわれないという共通理解を確認。③ 新規ケースの引継ぎを行う際に使用している情報提供シートの関係にはよりで表現。
中校地域と江本域といわしての	トの運用についての確認。
中核地域生活支援センターとの連携や役割分担について	 ① 中核地域生活支援センターの役割を理解。 ② 事例を用いた具体的な連携事例の共有。 例)・中核地域生活支援センターに入った相談で未診断や手帳未取得の方からの場合、診断がついた時点で、どのように他機関につなげていくとスムーズに連携が出来るか。→サービス利用が明確な場合は地域の相談支援事業所へ。サービス利用までに時間がかかるであろう場合や、困難ケースの場合には、基幹相談や委託相談につないでもらい対応。

	・家族にも支援が必要な多問題世帯の場合、本人支援は相	
	談支援事業所で対応し、家族支援として中核地域生活支	
	援センターが関わることも可能。	
重層的支援体制整備事業について	① 多領域との連携(障がいと高齢/医療と福祉/教育と福祉)。	
の意見交換	② 連携時の個人情報の取り扱いについて。	
計画相談支援事業者の不足に関連	① アンケート設問内容を本会議にて検討し、県内の基幹相談支	
した実態把握とセルフプランの取	援センターに送付、回答内容を集約。	
り扱いについてのアンケート実施	② セルフプラン率0%となっている自治体や基幹相談支援セ	
	ンターに聞き取り (ヒントを探る)。	
	③ 計画相談支援事業所不足に対しての参考となる取組みにつ	
	いて検討。	
	④ 他市のセルフプラン作成支援等の支援内容や位置づけの	
	確認。	
	⑤ 浦安市の現状についての整理。	
v.로		

[※]委託相談連絡調整会議内容は、相談支援実務者会議にて報告、共有※

地域生活支援拠点運営会議について

【目的】 面的整備を担う事業所への拠点機能の周知と連携促進/5つの機能強化

【参加者】拠点運営コアメンバー

- ふるさと学舎浦安
- ・浦安市基幹相談支援センター
- ・浦安市障がい福祉課/障がい事業課

【事務局】浦安市基幹相談支援センター

【概略】 地域生活支援拠点の5つに機能に関連した課題の整理と対応策について検討

- 1) 相談
- ② 緊急時の受入れ及び対応
- ③ 体験の機会及び場の提供
- ④ 専門的人材の確保及び養成
- ⑤ 地域の体制づくり

【今年度の特徴】

- ① 相談機能に関連した事項については、相談支援実務者会議と連動して計画相談支援事業者との課題 意識の共有や周知を行い、双方向の情報共有と理解の促進を図った。
- ② 体験の機会・場、地域づくり(サービス提供体制強化)に関しては面的整備促進を目的として、登録事業者(グループホーム)との意見交換を行い、グループホーム体験利用促進のための活用ツールを作成した。

【令和5年度の取組】

地域生活支援拠点の機能	検討事項と実践	考察、まとめ
相談機能	【検討事項】	① 相談員の理解と認識のずれ
	出口支援会議の開催回数減少	例 : 緊急ショートステイが複数回
		発生しても戻る場所が決まって
	【実践】	いる場合は出口支援会議は不要
	出口支援会議の開催回数が減少	② サービス等利用計画に則り、平生
	したことに課題意識を持つより	時の生活を維持することが出来
	も、出口支援会議の本来の目的	ているが、単発的な緊急ショート
	である緊急事態が頻発すること	利用の場合は、出口支援会議の開
	を防ぐ手立てを検討するための	催は不要とした
	会議であることから、個別の事	(例:突然のヘルパーの体調不良等)
	例の実態に応じて出口支援会議	③ 出口支援会議の開催の積み上げ
	を開催することの有用性を理解	により緊急ショート利用の実態
	し、開催することの大切さを相	が見えてきたことから、会議開催
	談支援実務者会議にて相談員と	の取捨選択ができるようになっ
	共有。	た。
緊急時の受入れ及び対応	【検討事項】	① 緊急受け入れ自体が減少
	出口支援会議の開催回数減少	② 特定の利用者の緊急ショート利
		用回数が減少
		→出口支援会議を重ねたことで、
		一定程度、支援が整い始めてい
		る。
		③ 警察案件や家族間トラブルを理
		由とする緊急ショート利用は減
		少傾向。
相談機能	【検討事項】	① 個別事例の対応に多忙で、個別の
	【役引事項】 拠点会議の開催回数減少	事例から見える地域課題をどう
		課題解決につなげていけばよい
	【実践】	か分からない。
	・ へぬる 地域課題についての理解とイメ	② 拠点会議をふくめ、個別の事例か
	一ジの共有化を相談支援実務者	ら見えた地域課題を解決にむけ
	会議にて図った(同じような困	たシンプルで分かりやすい仕組
	りごとを抱えている方が複数い	みの整備が必要。
	る場合、それが地域課題になる)	→次年度にむけて積み残し
	1	1

体験の機会・場 地域づくり(サービス提供 体制強化)

【検討事項】

グループホーム体験利用の実績が少ない。体験の機会や場が活用されていないのではないか。

【実践】

- ① グループホーム体験利用リーフレットを作成し、障がい福祉課が構築したグループホーム空室アプリと連動した活用ができるようにした。
- ② グループホーム登録事業者との意見交換会を実施。

- ① 体験利用が周知されていない(知られていない)
- ② グループホーム入居前提の体験 利用となり、将来の自立生活のイ メージ作りのためのグループホ ーム体験利用の活用が知られて いない。
- ③ 分かりやすい説明ツール、情報発信ツールがあれば利用促進につながるのではないか。
- ④ 登録事業者にヒヤリングして実 態把握と協力要請が必要ではな いか。
 - →次年度、効果検証(モニタリング 実施)

地域づくり(サービス提供体制強化)

【検討事項】

障がいのある子どもたちの子育 て短期事業の利用が増えている (※特に週末利用)

<子育て短期支援事業とは> 保護者の方が疾病、看護、出産、 出張、育児疲れなどで、一時的に 子どもの養育が困難となった場 合に、実施施設において一定期 間、児童を養育する事業。

(出典:浦安市ホームページ)

- ① 週末に子どもの療育や預かりの 利用ニーズが一定程度あり、開所 している事業所に利用が集中す る傾向がある。
- ② こどもの権利擁護の観点から、この事態をどう捉えるか。やむを得ない事情が生じた場合を除き、週末利用が定番化している場合があることが懸念される。
- ③ 子育て短期支援事業の利用手続き方法について共通理解を図る必要がある。
 - →次年度に向けての積み残し

浦安市障がい者アート展2023 報告書

●浦安市障がい者アート展 2023 について

1. 実施内容

障がい児者が気軽に参加し、文化芸術活動に触れる機会を設けることで、文化芸術活動を通じた障がい児者の個性と能力の発揮及び社会参加の促進を図ることを目的とした、障がい者アート展を開催する。

2. 日時及び会場

日 時:令和5年12月20日(水)~令和5年12月26日(火)

午前8時30~午後5時(但し市役所開庁時間に準ずる)

会 場:浦安市役所1階市民ホール

3. 応募総数・実展示数

41件/40件

●当日資料



●特集ページ

https://www.city.urayasu.lg.jp/shisei/koho/topics/1038372/1041396/1041579.html 浦安市ホームページ内フォトレポート (浦安市障がい者アート展 2023)

浦安バリアフリーコンサート報告書

1. イベントの概要

タイトル	浦安バリアフリーコンサート
実施の目的	・障がい児者が気軽に参加することができ、文化芸術活動に触れ
	る機会の創出
	・文化芸術活動を通じた障がい児者の個性と能力の発揮及び社会
	参加の促進

2. イベントの詳細

開催日時	令和6年1月27日(土) 開演14:00 (開場13:00、終演15:30)
開催場所	浦安市市民プラザ Wave101 大ホール
入場費用	無料
出演	明海大学吹奏楽部
最大動員人数	200 名
	※申込者が最大動員人数を満たない場合、当日受付を行う
周知方法	・浦安市広報「広報うらやす」12月1日号掲載
	・浦安市ホームページ特設ページ(現在掲載終了)
	・メールを用いた周知
	送付先:・市内事業所
	・自立支援協議会委員
	・市内障がい福祉団体
	・郵送における周知
	送付先:・市内特別支援学級
	・市立幼稚園・保育園及び認定こども園
	・市内私立幼稚園・保育園・こども園等
	・ポスターチラシ配布
	配布先:・市所管施設及び指定管理施設、
	・イオン新浦安店
	・ダイエー浦安駅前店等
特記事項	・要約筆記者派遣あり

3. 実施実績

事業実績

- 事前申し込み者数(申込件数/申込人数) 48件/104名
- 2. 実動員数

98名

(内、事前申込者数:73名 当日受付者数:25名)

 演奏プログラム 別添資料1参照

事業における 成果・工夫

1. 入退場自由の公演

障がいによっては、閉塞された空間で過ごすことや、長時間 着座していることが難しいという課題があった。本公演では 公演中も全編を通して入退場を自由とすることにより、障が い当事者や家族・支援者が無理なくコンサートに参加できる ようにした

- 2. <u>声出しやダンスなど演者と一緒に参加できるプログラム</u> 障がい児・者が楽しめるプログラムとしてプログラム制作に あたり、会場全体で参加できるプログラム制作を依頼した。 結果として、障がい当事者の方が率先してダンスに参加す る・一緒に歌う等、当初の目的を達成できた。
- 3. 移動しやすい会場配置

開場を設営するにあたり、車いすやベビーカーの参加者が気軽に参加できるよう、座席配置が自由な会場を用意した。通路を大きく設定できる・席の可変性が高いことから、参加者の移動や結果として入退場がスムーズに行えた。

事業で見えた今 後の課題

障がい当事者のステージ参加

今回、コンサート参加者より、「障がいのある方のステージに立 つ機会が欲しい」との意見をいただいた。本年度に当課では「浦 安市障がい者アート展 2023」を開催したが、結果として音楽や演 劇方面の発表の機会が少ない現状にある。そのため次回開催で は、出演者団体を増やす・実施日程を分割することで、文化芸術 活動の発表の場を増やしていきたい。

4. 当日の会場の様子

別添資料2参照

5. 総括

- ・来場者数は当初の目標を下回ったが、会場配置を工夫することにより、結果的に満足度の高い会場設計・公演を実現することができた。
- ・周知の効果もあり、当初のメインターゲットである障がい当事者・その家族・支援 者だけでなく、こどもとその家族の参加が想定以上にあり、プログラムにマッチして いた。

(別添資料1)

バリアフリーコンサートプログラム

1部

- ・ 名探偵コナンのテーマ
- ・アイドル
- ·銀河鉄道999
- ・J-BEST-日本を勇気づける名曲たち-(メドレー)

2部

・楽器クイズ

小さな世界

レット・イット・ゴー

ミッキーマウス・マーチ

紅蓮華

- ・楽器紹介のためのファンタジーメドレー
- ・ジャンボリミッキー!
- アンパンマンたいそう

3部

- マツケンサンバⅡ
- · YOUNG MAN-YMCA-
- · SEDONA

アンコール

- ・勇気 100 パーセント
- 宝島

(別添資料2)













デフリンピックのシンボルマーク

「デフリンピックを知るう!」

2025年に「夏季デフリンピック競技大会(聴覚障害者オリンピック)」が、東京で開催されますので、デフスポーツの魅力を伝えるための「みんなのデフリンピック」上映会を開催することとしました。 上映会終了後、デフリンピック出場経験者の井藤博和氏によるミニ 講演会もありますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

【日時】2024年3月2日(土) 10:30-11:30

(受付は10:00から) 上映時間20分+講演30分

【会場】東野パティオ 第1会議室

浦安市東野 1-9-3

【参加費】上映会参加費500円

(デフリンピック運営協力金として寄付します。)

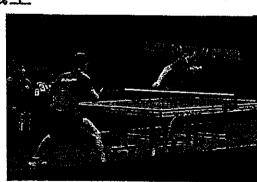
【情報保障】手話通訳・要約筆記付き

【問い合わせ先】:浦安市聴覚障害者協会事務局

Mailアドレス: urayasudeaf.office@gmail.com FAX047 (352) 2617

当協会 HP https://www.urayasudeaf.com/





2022プラジル大会出場。

男子団体戦銅メダル獲得

(鳥取県出身 浦安市在住)

井藤博和選手

当協会事務局宛(メール・FAX・手渡しOK)

「デフリンピック上映会・ミニ講演会」に参加します

名前

団体名:ろう協 青べか てとわ つなぐ 市外